

<三谷市民活動助成事業 第2回：「スキー場での雪の観察会」報告>

平成30年2月4日（日）、参加者： 約50人



福井県和泉スキー場のゲレンデの端に顕微鏡を並べ観察会



親子でスキーの合間に雪の結晶観察



雪と塩を混ぜマイナス20度の低温容器に降る雪をとらえ実体顕微鏡で観察



雪の顕微鏡写真（x20）

< 県民福井新聞に掲載された記事 >



雪の結晶「きれい」
大野で観察会
NPO法人「ふくい科学学
園」による雪の結晶観察会
(日刊県民福井、中日新聞
社後援)が四日、大野市朝
日前坂の福井和泉スキー場
で開かれた。スキー客らが
雪の結晶を顕微鏡で観察し
ながら、雪の世界を存分に



楽しんで。
県内の教育関係者らでつ
くる同学園は、科学の面白
さを伝える講座などを続け
ており、香川喜一郎理事長
らが講師を務めた。
雪に塩を加えて零下二〇
度の低温状態にすることで、
雪の結晶が綺麗な状
況を作り、顕微鏡で観察。

スキーなどで訪れた子ども
たちは六角形の幾何学模様
に見入りながら「美しくて
きれい」と感心していた。
(藤井雄次)

雪の結晶を顕微鏡で観察
する子どもたち。大野市
の福井和泉スキー場で。